

株式会社イメージ・マジック 2025年12月期 決算説明会資料

2026年2月18日

株式会社 イメージ・マジック 証券コード：7793

IMAGEMAGIC

Contents

目次

1 会社概要

2 業績

3 業績予想・株主還元

4 今後の成長戦略

5 Appendix

1

会社概要

IMAGEMAGIC

プリントサービス事業



①自社受注サイト

当社インターネットサイトを經由で受注し
プリント加工を行い出荷するサービス



②連携パートナー

当社のシステムと連携した会社經由で受注
データを取り込み、製造出荷するサービス

《主なグッズ例》

オリジナルグッズ/カジュアルギフト/クリエイターグッズ/
エンターテインメントグッズ/ノベルティ/ユニフォーム



ソリューションサービス事業



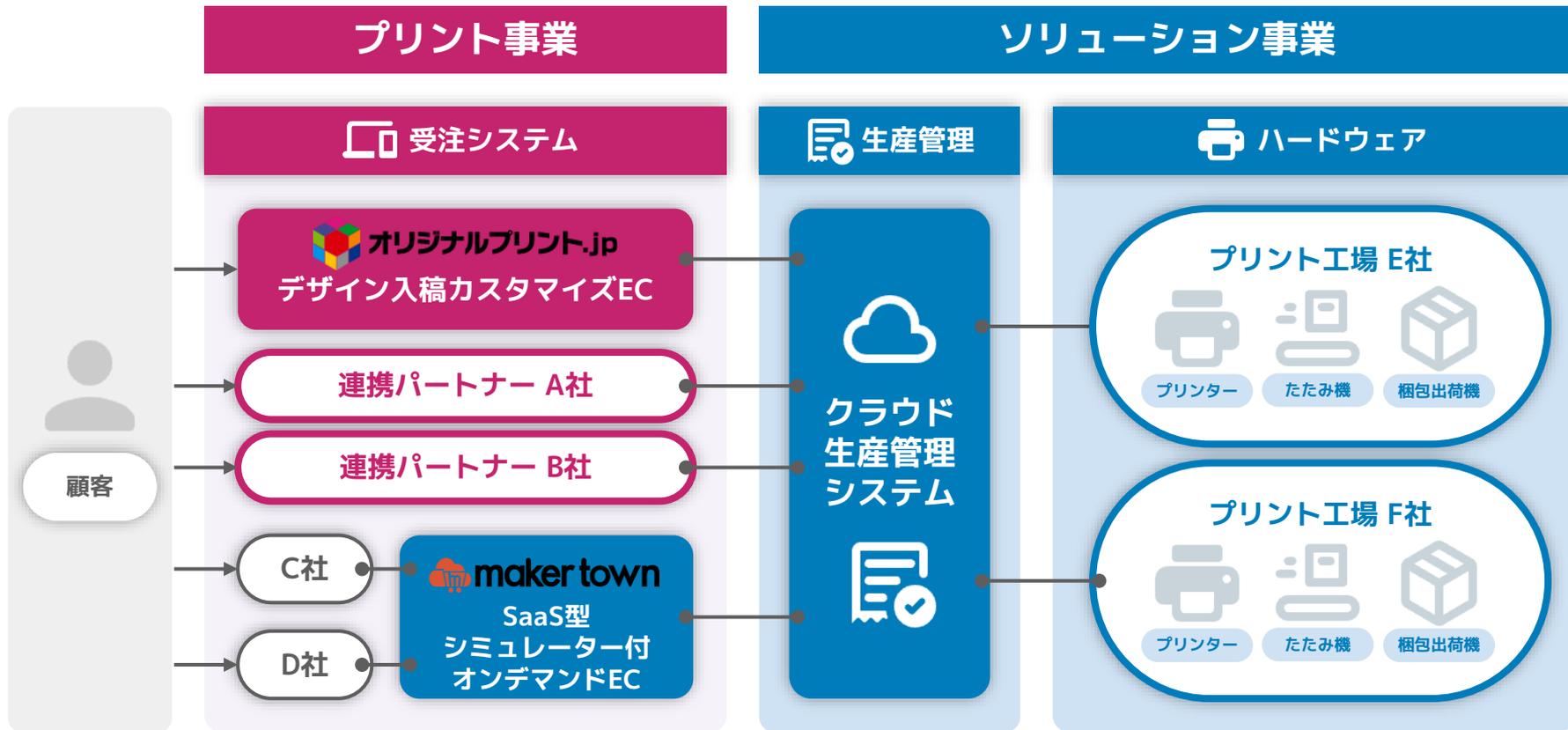
③ソフトウェア開発・提供

オンデマンドプリントの各ワークフローを
OEM及びSaaS型モデルとして提供



ハードウェア開発・販売

プリンター/加工機/たたみ機/梱包機等
生産・出荷プロセスで関わるハードウェアを
提供



個性と創造性溢れる 豊かな社会づくりに貢献します。

私たちは、一人ひとりの個性や創造性が尊重される社会の実現に向け、AIの積極的活用を加速させています。

AIをはじめとした先端技術を深く統合することで、生産性と品質を飛躍的に向上させ、モノづくりをかつてない速さと柔軟性で進化させます。

これにより、人々に感動と喜びを届ける新たな価値を創出し、サステナブルで豊かな社会を築いていきます。

オンデマンドプリントの自動化とAI活用による変革



簡単・便利な
モノづくりを実現

AIによるデザイン提案や自動化ツールで、誰もが直感的にモノづくりを楽しめ、最適なタイミング・価格で手元に届く仕組みを実現します。



オンデマンド
生産市場拡大に貢献

工場のモノづくりDXを加速し、AIによる生産計画・品質管理の完全最適化を実現。業界全体の生産性を飛躍的に向上させていきます。



在庫を減らし
つくる責任を果たす

AI需要予測と在庫管理の徹底的な活用により、無駄な在庫や廃棄を大幅に削減。AIを駆使して『つくる責任』を強く果たしていきます。



ソリューションを
グローバルに提供

世界中の最適なソリューションにAI技術を掛け合わせ、より高品質で持続可能なモノづくりサービスをグローバルに提供していきます。

事業活動を通して、社会課題の解決と企業価値向上を実現

イメージ・マジックは、創業時より「必要なものを必要な分だけ作る」というポリシーを掲げ、環境負荷の低減に取り組んできました。

これからもテクノロジーを活用した事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



環境



社会



ガバナンス





オンデマンド生産の仕組みをクラウド化したサービスの提供

従来の大量生産システムとは異なり、お客様のニーズに合わせたオンデマンド生産を実現するクラウドサービスを提供しています。これにより、無駄な在庫を抑え、資源の有効活用と環境負荷の低減に貢献しています。

資源の有効活用

環境負荷の低減



サステナブル製品の提供

環境に配慮した素材や製法を採用したサステナブル製品を積極的に使用し、環境負荷の低減に努めています。また長く愛用できる高品質な製品を提供することで、廃棄物の削減にも貢献しています。

環境負荷の低減

廃棄物の削減



AIを用いたお問い合わせ対応

適切なAIツールを選定し、回答精度を高めるためのプロンプトのチューニング、商品データの学習を強化。さらにCRMと連携することで、AIが質問の意図を汲み取った適切な回答から商品のおすすめまで、信用度の高い回答を実現。

顧客対応の効率化・回答精度の向上

AIによる最適な提案



「オンデマンドアパレル」で 持続可能なモノづくりを推進

オンデマンドアパレルシステムを開発し、必要なものを必要な量だけ生産することで、過剰生産や在庫ロスを防ぎ、資源の有効活用に貢献。生産計画の高度化や無駄な工程の削減など、生産効率の向上に向けた取り組みも積極的に推進。

過剰生産や在庫ロスの削減

生産計画の高度化・無駄な工程の削減



環境負荷の低減に貢献する 顔料インクと昇華染色の採用

環境負荷の低い顔料インクと昇華染色の技術を採用し、水の使用量や廃棄物の削減を実現しています。インクの独自開発など、安全性の高い製品の提供に向けた取り組みも積極的に推進。

水の使用量や廃棄物の削減

環境負荷の低減



工場から出る廃棄物の 再資源化（固形燃料化）

工場から出る産業廃棄物を燃料に変換するRPF（リサイクル燃料）を製造し、廃棄物の削減とエネルギーの有効活用に貢献しています。RPFの普及促進にも取り組んでいます。

再資源化・CO2排出量の削減

RPFの普及促進

2

業績

IMAGEMAGIC

前四半期に引き続きオンデマンドプリントサービス売上高が堅調に推移
売上・利益は過去最高値

売上高

9,402百万円

前年同期比 +21.0%

売上総利益

3,794百万円

前年同期比 +28.2%

営業利益

556百万円

前年同期比 +26.4%

経常利益

558百万円

前年同期比 +24.2%

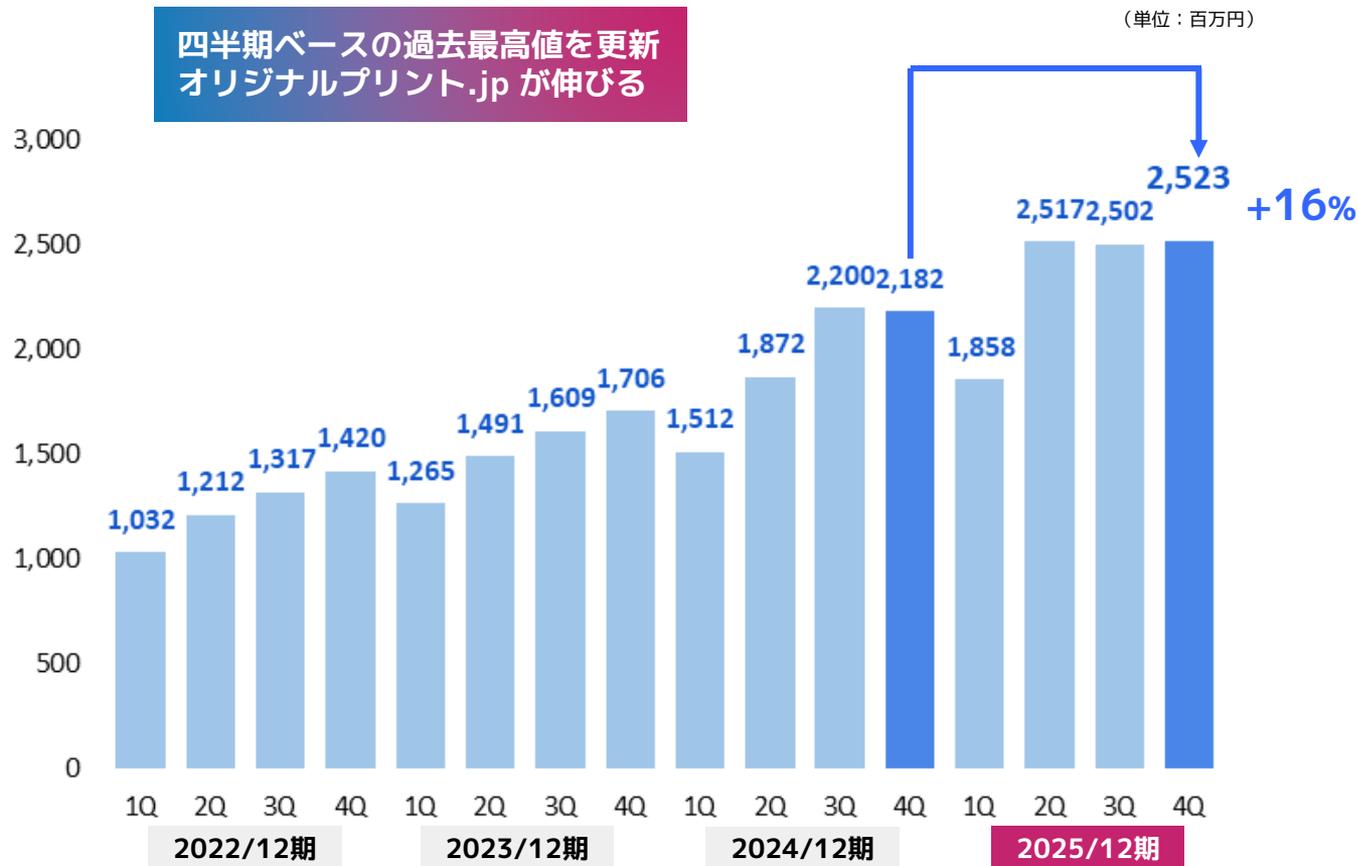
当期純利益

329百万円

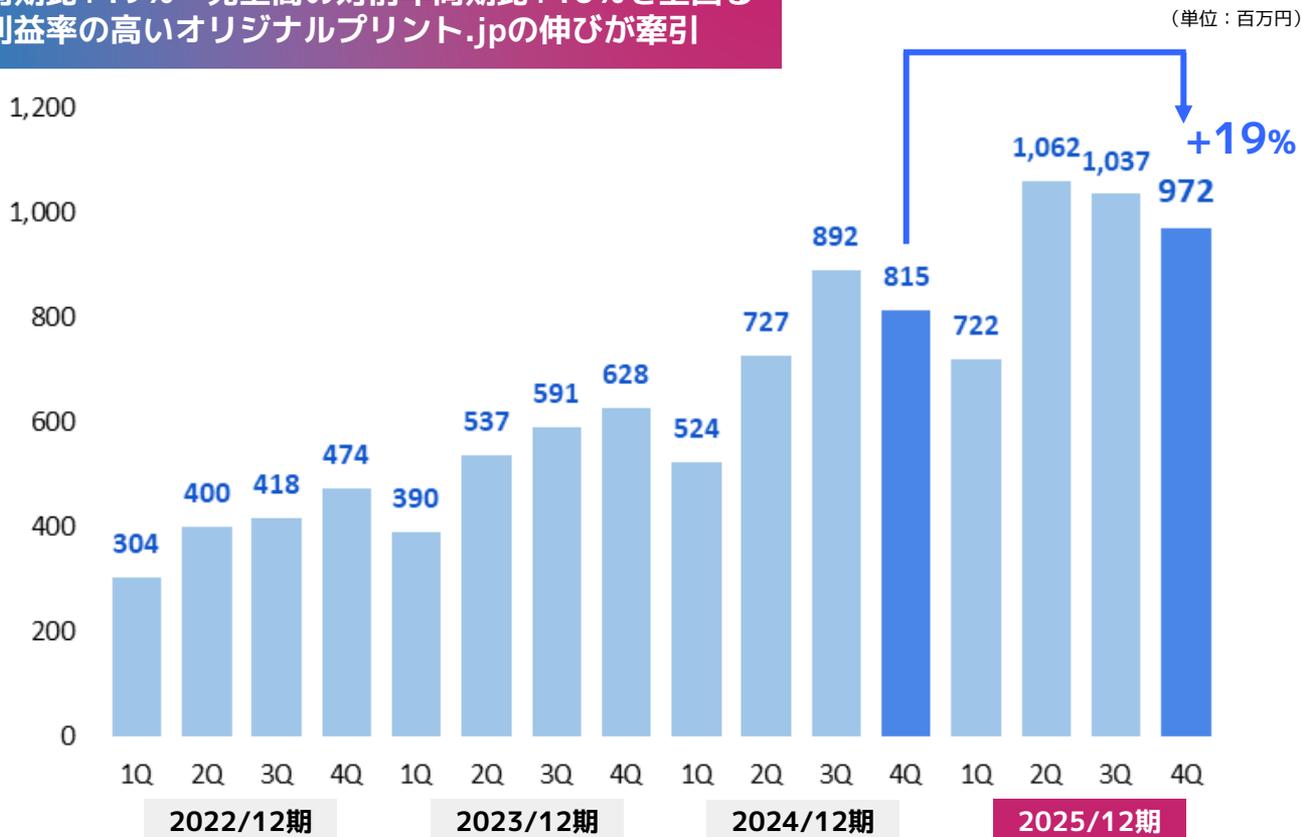
前年同期比 +27.5%

(単位：百万円)	2024年12月期	2025年12月期	前年同期比		2025年12月期通期	
	2024年1月 ～2024年12月	2025年1月 ～2025年12月	増減額	増減率	業績予想 (2025/11/14発表)	通期予想 差異率
	前期実績	当期実績				
売上高	7,767	9,402	1,634	21.0%	9,330	100.8%
売上総利益	2,960	3,794	834	28.2%		
対売上比 (%)	38.1%	40.4%	+2.3pt	-		
営業利益	439	556	116	26.4%	530	104.9%
対売上比 (%)	5.7%	5.9%	+0.2pt	-	5.7%	-
経常利益	449	558	108	24.2%	530	105.4%
対売上比 (%)	5.8%	5.9%	+0.1pt	-	5.7%	-
当期純利益	258	329	71	27.5%	310	106.4%
対売上比 (%)	3.3%	3.5%	+0.2pt	-	3.3%	-
EBITDA※	648	829	181	27.9%		
対売上比 (%)	8.4%	8.8%	+0.4pt	-		

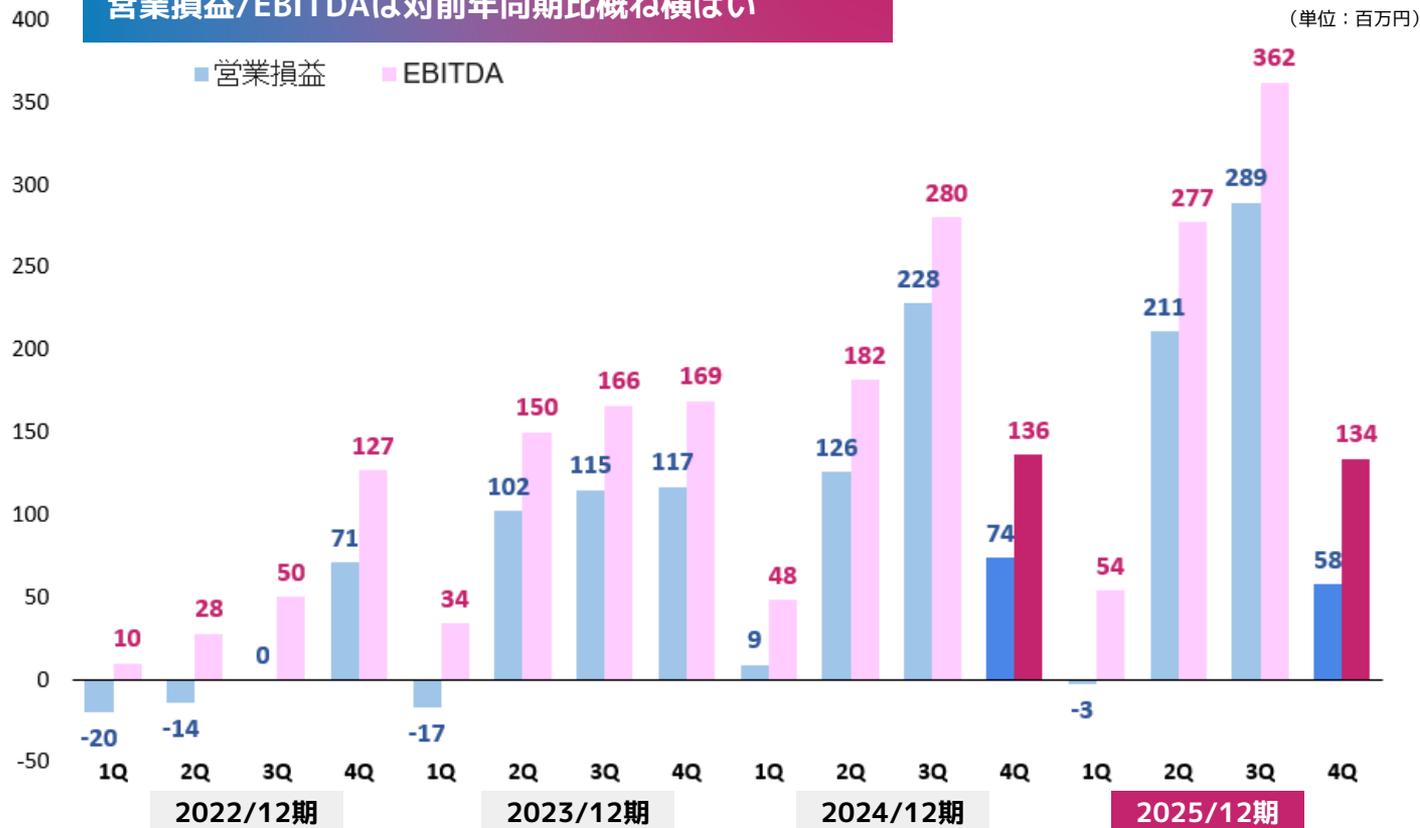
※：EBITDA＝経常利益+支払利息+減価償却費



対前年同期比+19% 売上高の対前年同期比+16%を上回る
売上総利益率の高いオリジナルプリント.jpの伸びが牽引

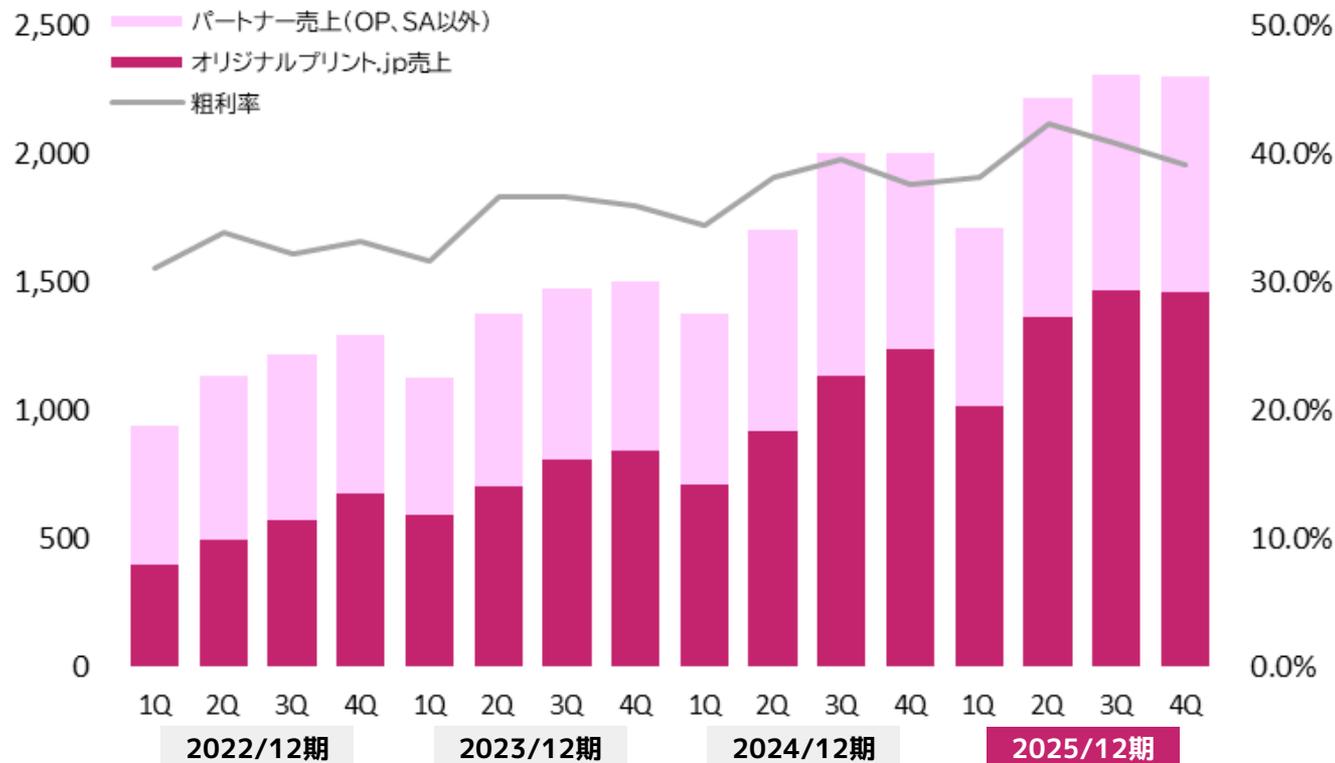


来期成長に向けた広告/販促/人への投資積極化により
営業損益/EBITDAは対前年同期比概ね横ばい



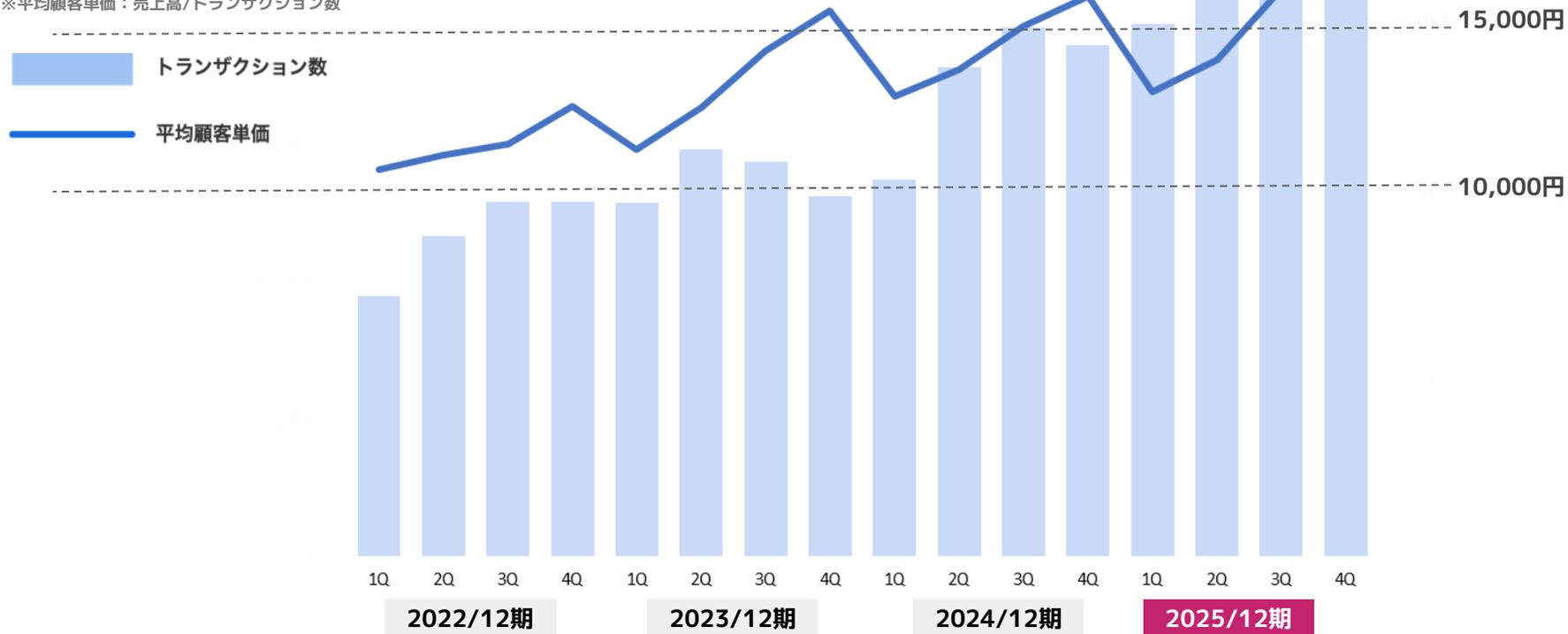
オリジナルプリント.jpが好調

(単位：百万円)



トランザクション数の対前年同期での増加を主要KPIとして認識 平均顧客単価は最高値を記録

※トランザクション数：取引件数（受注）
※平均顧客単価：売上高/トランザクション数



「3DME」サービス拡充

3D撮影・写真から人物・ペットの
フィギュアを制作（TV取材多数）



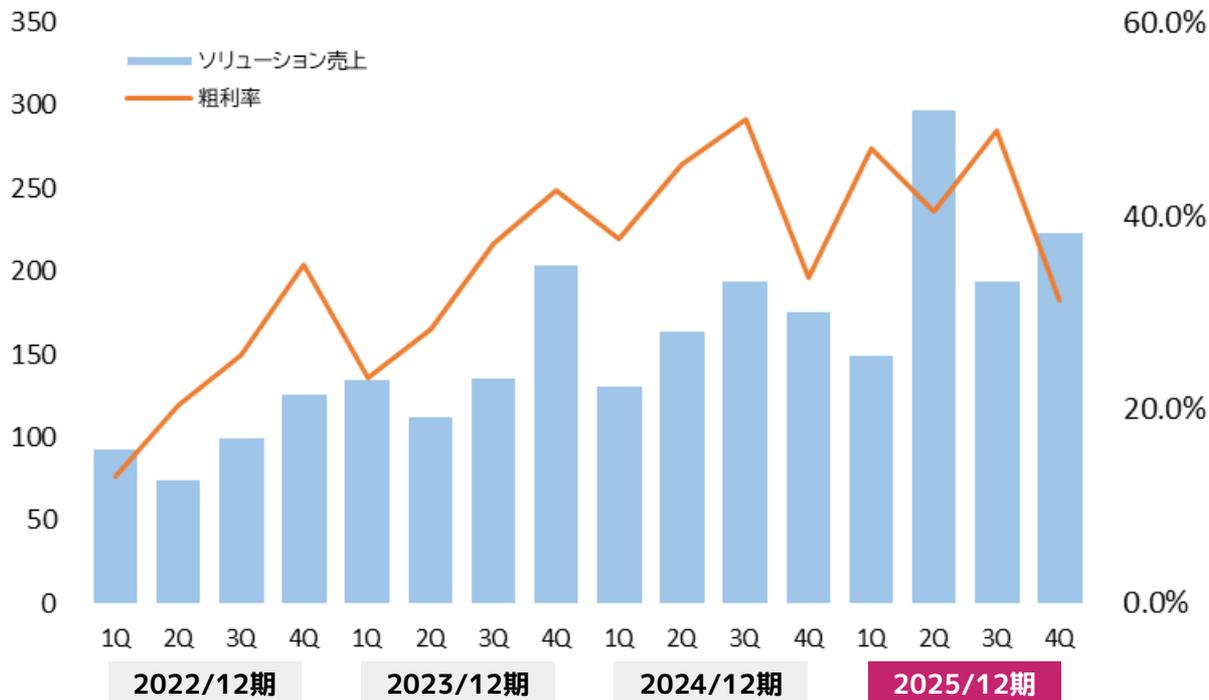
Xtool Apparel Printer

誰でも簡単にプロ品質のアパレル
を製作可能に

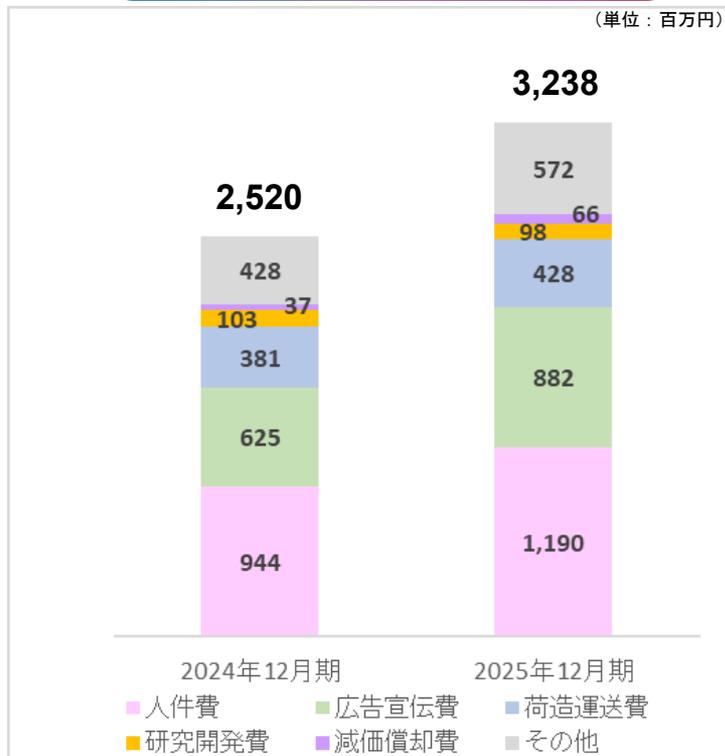


4Qは販売ハードウェアの入れ替えに伴う評価減を実施したため粗利率が低下
 消耗品は堅調

(単位：百万円)



販売費及び一般管理費の主な内訳



当期販売費及び一般管理費

3,238百万円 前年同期比：717百万円増 (+28.5%)

人件費

- 規模拡大及び体制強化に伴う増加
1,190百万円 前年同期比：245百万円増 (+26.0%)

広告宣伝費

- 売上に連動させた広告出稿積極化により増加
882百万円 前年同期比：257百万円増 (+41.1%)

荷造運送費

- 売上増に伴う出荷件数増に連動して増加
428百万円 前年同期比：47百万円増 (+12.3%)

研究開発費

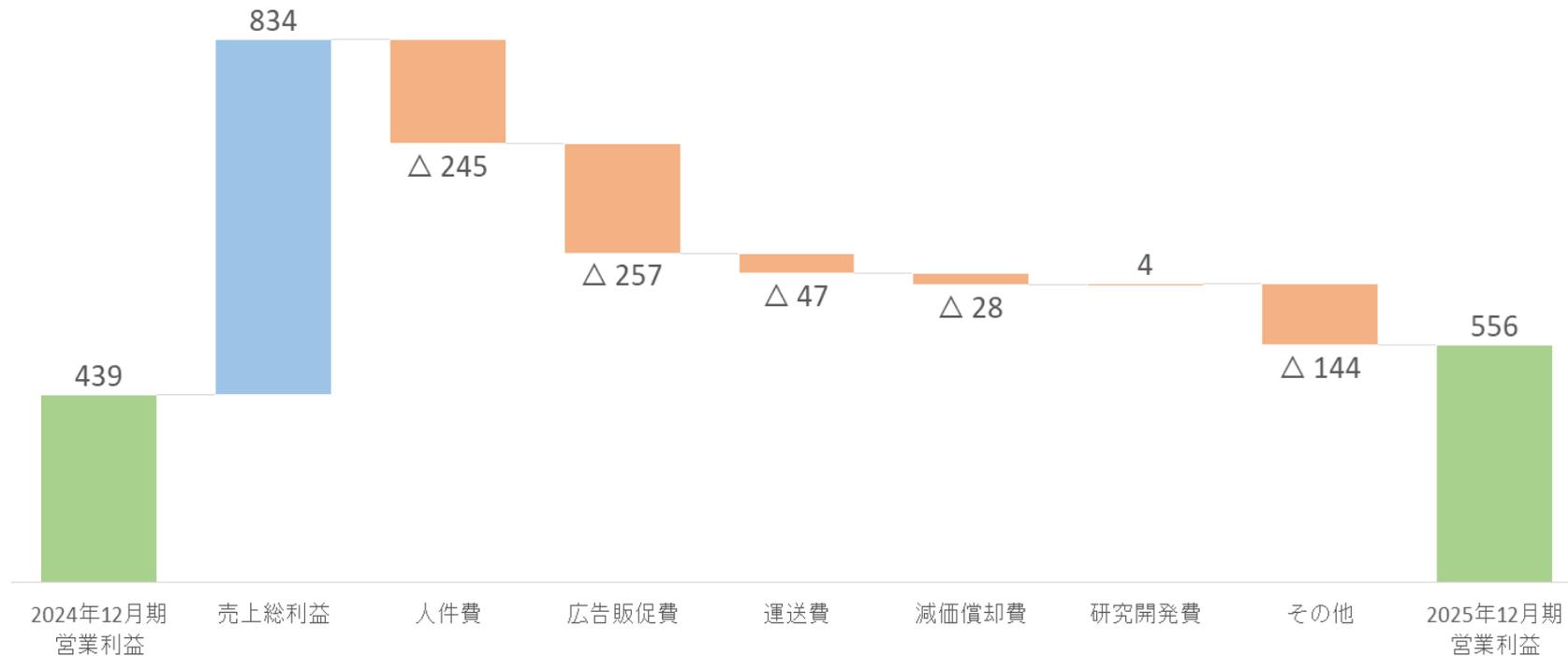
- 開発案件の一巡に伴う減少
98百万円 前年同期比：4百万円減 (△4.6%)

減価償却費

- 機械等設備投資による増加
66百万円 前年同期比：28百万円増 (+76.2%)

広告販促及び人への積極投資により売上総利益の増加を実現

(単位：百万円)



現預金及び、売上増加に連動した売掛金等の流動資産や買掛金等の流動負債が増加
 現預金については、運転資本増や研究開発投資等実行するもネットキャッシュは増加しており、
 配当支払、自己株式取得による資本政策もバランス良く行っていく

(単位：百万円)	2024年12月末	2025年12月末	前期末比
	前期末	当期末	増減額
資産合計	3,022	3,508	485
流動資産	1,871	2,255	384
固定資産	1,151	1,252	101
負債合計	1,214	1,452	237
流動負債	971	1,291	320
固定負債	243	160	△ 82
純資産	1,808	2,055	247
総資産	3,022	3,508	485
有利子負債	284	162	△ 121
現預金残高	940	1,167	226
ネットキャッシュ	656	1,005	348
自己資本比率 (%)	59.8%	58.6%	△ 1.2pt

(単位：百万円)	2024年12月期	2025年12月期	前期比
	前期累計	当期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	591	820	228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△404	△389	15
フリー・キャッシュ・フロー	187	431	243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109	△204	△95
現金及び現金同等物の増減額	78	226	148
現金及び現金同等物の期首残高	862	940	78
現金及び現金同等物の期末残高	940	1,167	226

【主な内訳】 ※数値は全て百万円

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前当期純利益+435、減価償却費+269、仕入債務+107、その他流動資産+122、棚卸資産△146

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産取得△369

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入返済△94、配当支払△87、自己株式取得△71、SO行使+76

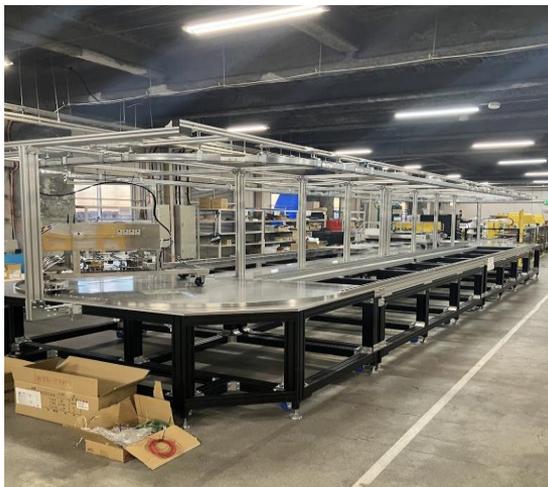
研究開発関連費用：384百万円

(研究開発費：98百万円 + 設備投資額：82百万円 + 関連経費：204百万円)

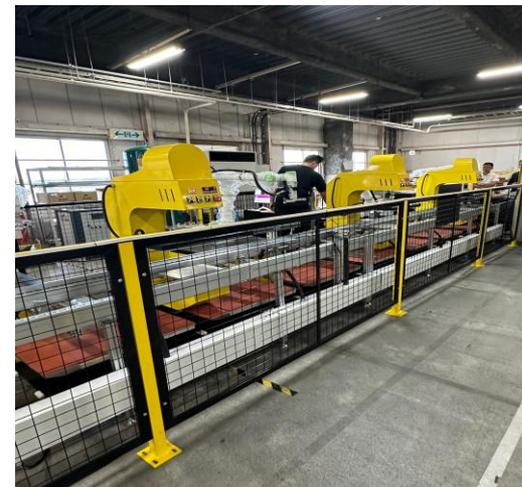
開示可能主要研究カテゴリー



自動名寄せ装置 稼働開始



長台自動スクリーン印刷機 稼働開始



全自動プレス機

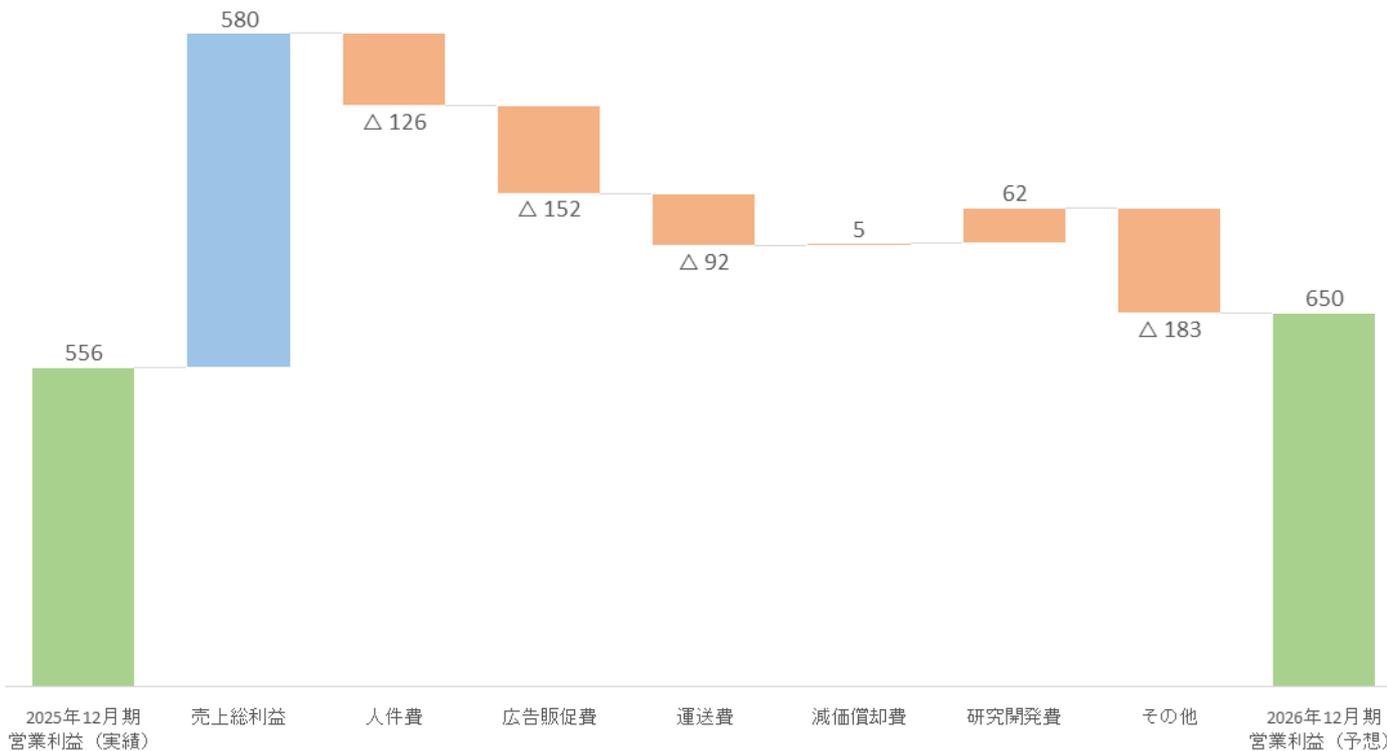
3

業績予想・株主還元

IMAGEMAGIC

オンデマンドプリント/ソリューションサービスともに伸長する計画
継続した成長により増収増益を見込む

(単位：百万円)	2025年12月期	2026年12月期	前期比	
	前年同期実績	(業績予想)	増減額	増減率
売上高	9,402	10,700	1,297	13.8%
営業利益	556	650	93	16.9%
対売上比 (%)	5.9%	6.1%	+0.2pt	
経常利益	558	650	91	16.4%
対売上比 (%)	5.9%	6.1%	+0.2pt	
当期純利益	329	440	110	33.4%
対売上比 (%)	3.5%	4.1%	+0.6pt	



自己株式取得

株主還元及び資本効率の向上、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策（M&A等含む）の遂行を目的とした取得

取得期間	FY25（実績） 2025/5/19-11/30		FY25（実績） 2025/9/8-11/12		FY26（予定） 2026/2/16-7/31
株式総数	40,000株 （上限）	40,000株 （100.0%）	20,000株 （上限）	20,000株 （100.0%）	60,000株 （上限）
取得価額	100,000,000円 （上限）	52,883,100円 （52.9%）	50,000,000円 （上限）	34,389,500円 （68.8%）	150,000,000円 （上限）

増配（予定）

中長期的な企業価値向上を目指した成長投資を行いつつも、内部留保の確保、株主の皆様への安定的継続的な利益還元のバランスを勘案

	FY24（実績）	FY25（3月配当予定）	FY26（予想）
当期純利益	258百万円	329百万円	440百万円
一株当たり配当	30円	32円	35円

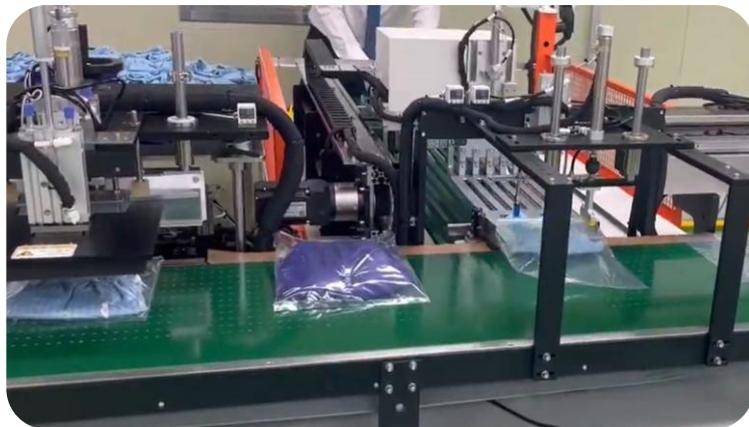


当社は成長フェーズにあり、中長期的な成長投資を優先しながら、安定的継続的な株主還元を総合的に判断して実施していきます。

4

今後の成長戦略

IMAGEMAGIC



封入作業の自動化

袋詰めや封入工程の
自動化装置



出荷の自動化

梱包出荷の自動化装置

UVプリンタへのカメラ設置

カメラ搭載による治具レス 化で競争力強化に貢献

課題

従来のプリンターは位置決め精度が低く、
治具による調整が必要で非効率

▶解決策・期待できる効果

既存プリンターへのカメラ搭載により、
印刷対象を正確に認識・位置決め
治具レス化による大幅な生産性向上





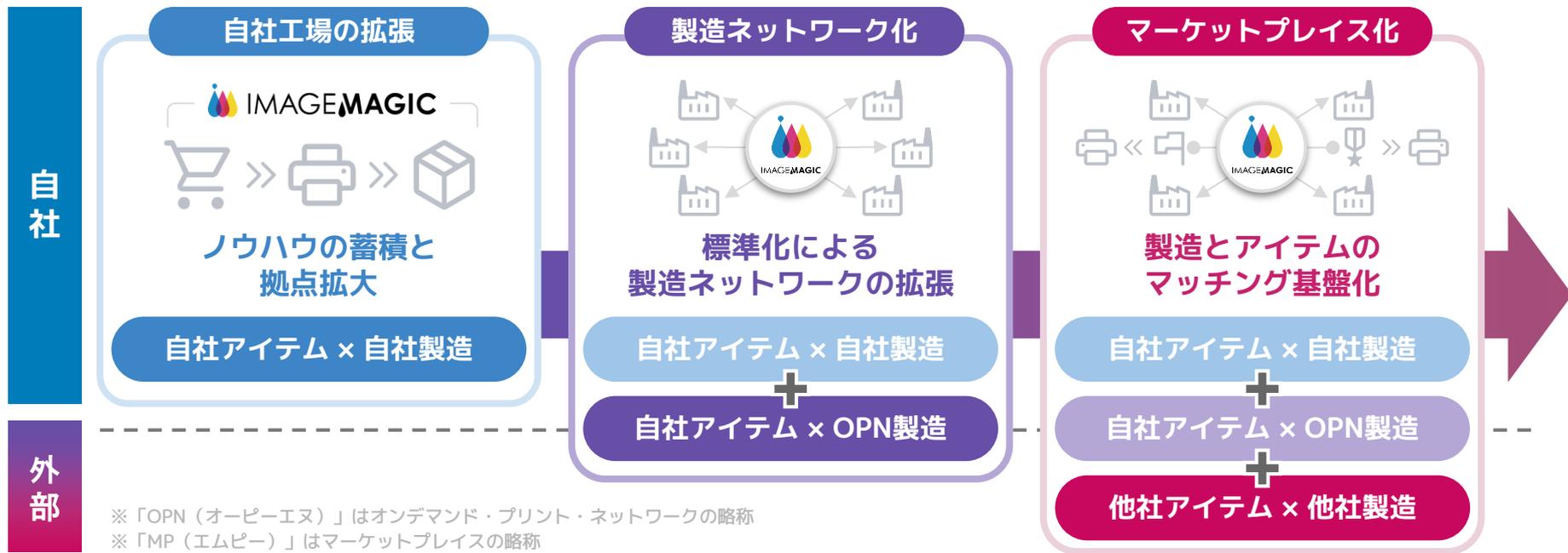
AMR導入

- AMR（自律走行搬送ロボット）は搭載したセンサーで周囲の状況を把握しながら自律移動します。
- 工場内の物の移動の自動化を行います。



MESによる稼働状況管理

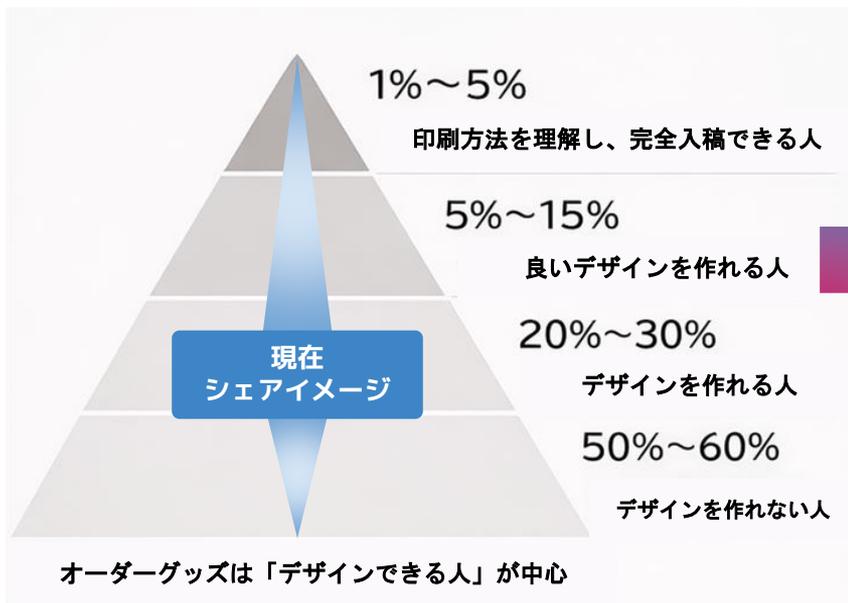
Wifi接続したMESにより機器の稼働状況をリモートでリアルタイムで把握分析し、ダウンタイムを軽減します。



今後もOPNとMPアイテムパートナーの両輪を拡張

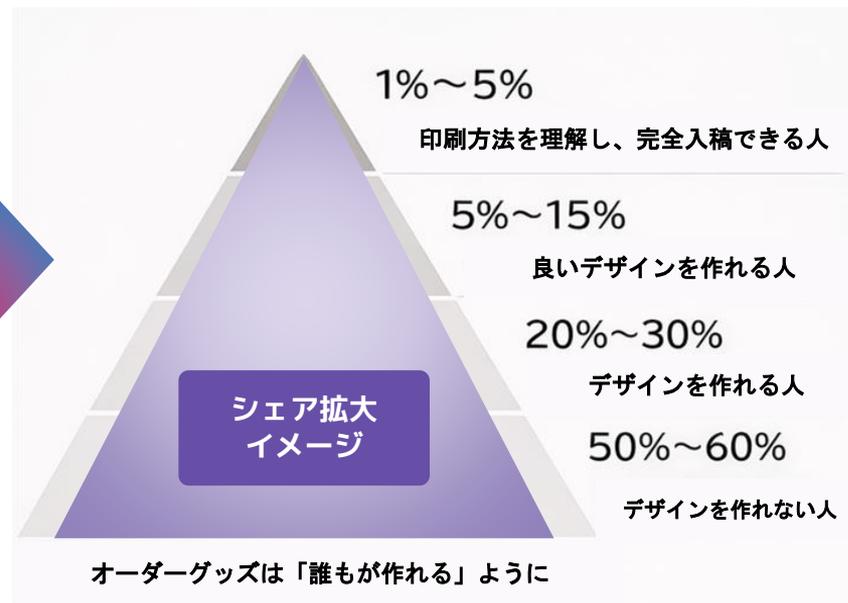
これまで

「デザインスキル」に依存した市場から



これから

AI化によって「誰もが作れる」時代へ





全生産ラインの自動化でコスト競争力を極限まで高める

加工名	DTG	DTF	スクリーン印刷	刺繍	UV
過去					
今期					
計画					

インクを使わない
アパレル製品へ
高速プリント



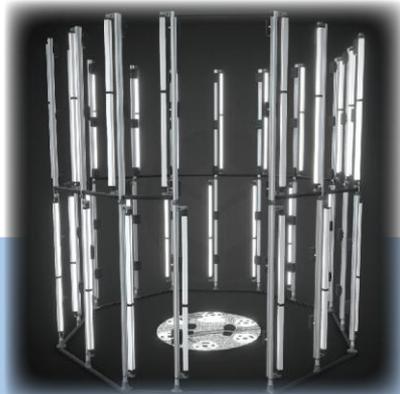
インク不要のため
消耗品コストゼロ



高性能フルカラー複合 3Dプリンター



sailner
フルカラー3Dプリンター



Arcana Mfg.
3Dフルボディスキャナー

日本国内販売代理契約



3DMEストア 銀座/渋谷ロフト店



カテゴリ	印刷・加工方法			
アパレル プリント 	製品	シルクスクリーン印刷	量産の印刷方法では主流で装置が完成され進化していない まだ周辺装置で進化の余地あり	事業投資
		DTG (ダイレクト印刷)	プリンターメーカー主導で進化	
		DTF (フィルム印刷)	世界で市場拡大	次世代プリンター 自動化装置開発
		刺繍		事業投資
	生地	デジタル捺染 染料	市場の90%染料と圧倒的だが 環境負荷が高いため 徐々に減少傾向	
		デジタル捺染 顔料	今後拡大する市場	事業投資
雑貨 プリント 	UV印刷	ダイレクトUV印刷	現状の装置では自動化が困難で 生産性も低い装置が主流	事業投資
		UV-DTF (フィルム印刷)	グローバルでも拡大中も 日本では今年から拡大見込み	製品ラインナップ 拡充

5

Appendix

IMAGEMAGIC

Company

会社概要

IMAGEMAGIC

会社名	株式会社 イメージ・マジック
事業内容	オンデマンドプリントプラットフォームの提供
設立	1995年5月
代表者	代表取締役社長 山川 誠
資本金	347百万円（2025年12月末現在）
従業員数	500名（パート・アルバイト含む） ※2025年12月末現在
所在地	本社 東京都文京区小石川1-3-11 ライジングプラザ後楽園

前年比 +43名



JPX

証券コード
7793

工場

川越工場

埼玉県川越市今福1443-1 3F

朝霞工場

埼玉県朝霞市泉水2-10-27

志村工場

東京都板橋区志村1-2-11

国内最大級ファクトリー

GPC 岐阜工場

岐阜県多治見市旭ヶ丘10-6-17

オフィス

小石川本社

東京都文京区小石川1-3-11
ライジングプラザ後楽園 5/6F

2025年4月開設

西日本支社

大阪府大阪市中央区北久宝寺町
1-7-9

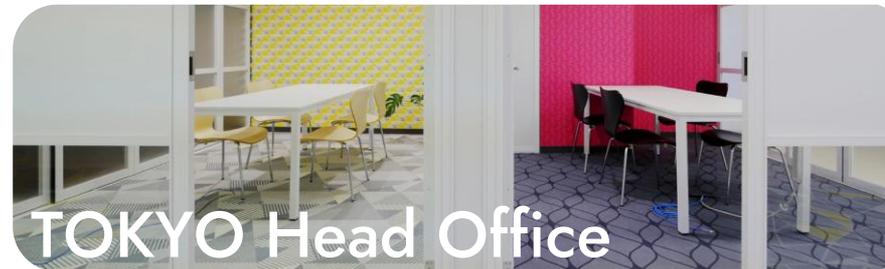
ショールーム

五反田ショールーム

東京都品川区西五反田7-22-17
TOCビル 10階15号

西日本ショールーム

大阪府大阪市中央区北久宝寺町
1-7-9



TOKYO Head Office

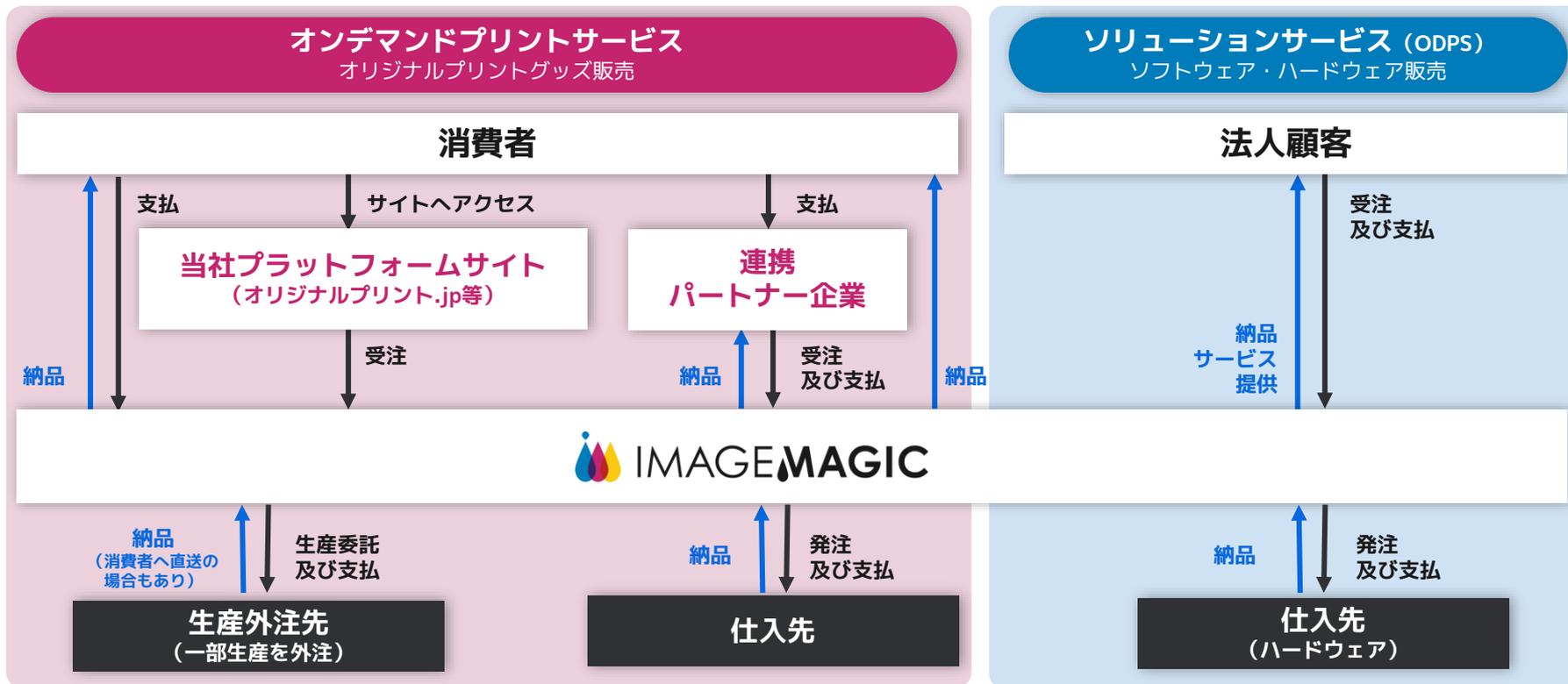


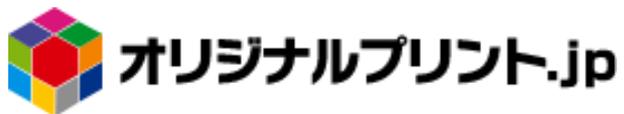
GOTANDA Showroom



GIFU Print Center

プリント×ITで新たな価値を創造する





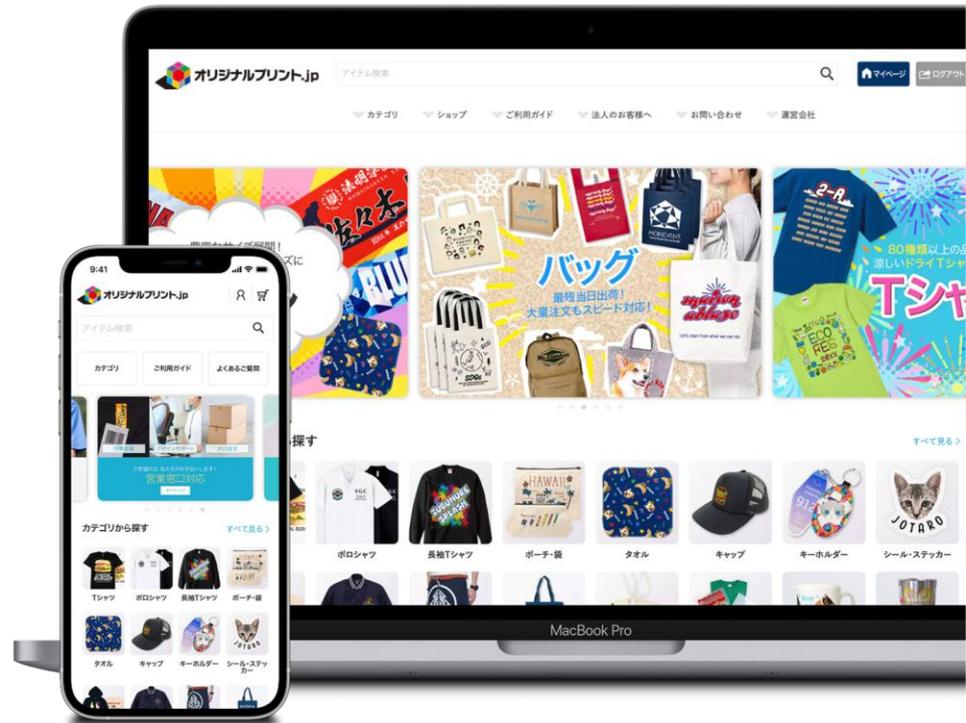
2010年 提供開始

国内最大級のWeb To Print オリジナルグッズ作成プラットフォーム

オリジナルグッズを作成できるECプラットフォーム。
アパレル、雑貨等、約1900種類のアイテムを取り揃え、
Webテクノロジーでご注文から出荷までを自動化し、お
求めやすい価格でのご提供を実現しております。



<https://originalprint.jp/>



拡大しているオンデマンドプリントの ビジネスフロー

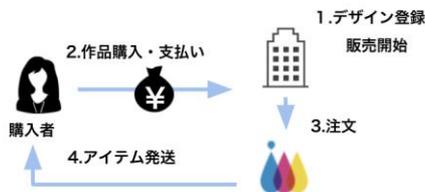
例：クリエイター



ビジネスフロー

- デザイン提供者であるクリエイターの出品アイテムの販売に対応
- 受注、生産、アイテムの出荷まで、クリエイターの手間が全くかからない

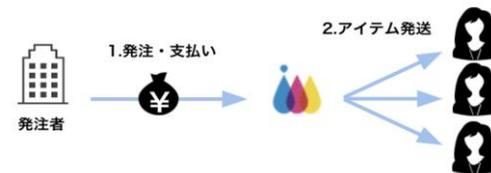
例：コンテンツホルダー



ビジネスフロー

- 販売する会社はキャラクター・有名人などのコンテンツを用意するだけで、幅広いアイテムの販売が可能
- 購入者が注文した後に、アイテムを作成して出荷するため在庫ロスなし

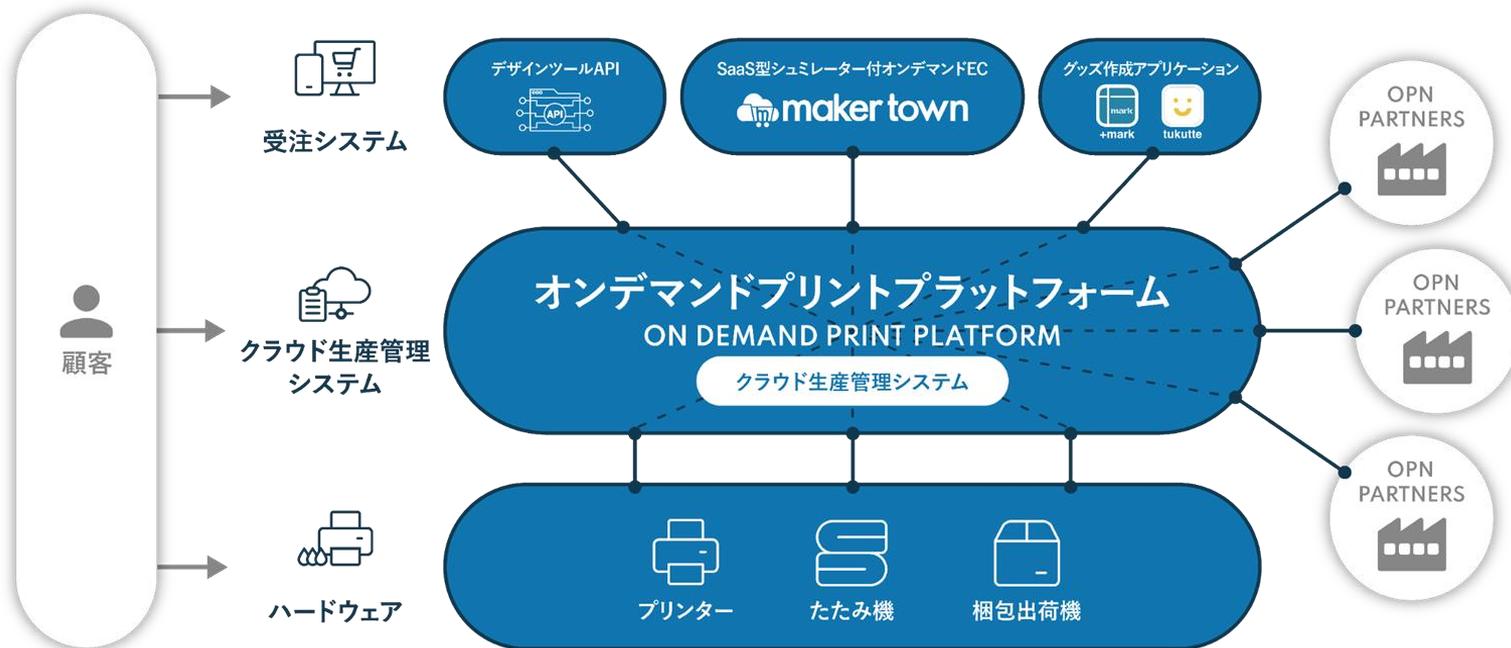
例：バリエブル印刷



ビジネスフロー

- オンデマンドプリントのワークフローを活用し、小ロットからのオーダーが可能
- システム連携を前提とした1オーダー1デザインの購入者ごとのバリエブル印刷に対応

受注から生産管理システム・ハードウェア等の 自社開発サービスをソリューションとして提供





DTF転写 (Direct to Film)

貼る

- ・旧来の方法から進化
- ・DTFはフィルム出力したものを熱で貼る方法

綿・ポリエステル・ナイロンをはじめ、様々な素材に対応

耐久性も強くユニフォームなど
様々な分野で拡大

旧来の転写は不向きだが
DTFはオンデマンドに向く

2020年頃から
急拡大中



DTG (Direct to Garment) インクジェットプリント

吹く (塗布)

- ・1点からフルカラーで印刷できる
- ・大量生産してもコストはあまり変わらない

綿・ポリエステルのみに対応

アパレル企業を中心に拡大

オンデマンドに最適

オンデマンドに最適のため
高速化や省力化が加速



シルクスクリーン印刷

刷る

- ・古くからある印刷方法
- ・1色ごとに版が必要
- ・小ロットには向いていないが、
数が増えれば最も安価で作ることが可能

様々な素材に対応

量産はほぼこの方法

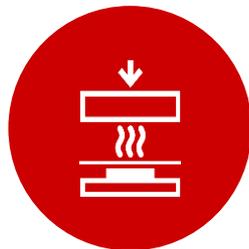
オンデマンドに不向き

低コストのため
なくなることはない

		
<h2>デジタル捺染 顔料</h2>	<h2>デジタル捺染 染料</h2>	<h2>アナログ捺染 染料</h2>
<h3>インクジェット印刷</h3>	<h3>インクジェット印刷</h3>	<h3>スクリーン印刷</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・風合いが硬い ・堅牢度が低い ・黒の発色が弱いが、技術進歩で解決段階 	<ul style="list-style-type: none"> ・風合いも柔らかい ・耐久性も高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・風合いも柔らかい ・耐久性も高い
<p>前処理・印刷・乾燥 1工程</p>	<p>前処理・印刷・蒸し・洗浄・乾燥 それぞれ別工程</p>	<p>前処理・印刷・蒸し・洗浄・乾燥 それぞれ別工程</p>
<p>超短納期が実現</p>	<p>工程が多く納期も長い</p>	<p>工程が多く納期も長い</p>

環境負荷が少なく
今後急速にシフト

生地の95%近くは染料で印刷



UV印刷	ホットスタンプ	パッド印刷	シルクスクリーン印刷
・インクジェットプリンターで 1点から可能	・金属箔を熱と圧力で転写し、 高級感 を演出する印刷技術	・シリコンパッドでインクを拾い、転 写印刷	・絹目状の版でインクを押し出し、 鮮 明な印刷 を実現する技術
デジタル印刷	型が必要 アナログ印刷	1色ごとに製版が必要 アナログ印刷	1色ごとに製版が必要 アナログ印刷
	耐久性も強い	プラスチック系素材の ノベルティ用途に最適	素材を選ばない ノベルティ用途に最適
オンデマンドに 最適	オンデマンドには 不向き	オンデマンドには 不向き	オンデマンドには 不向き

フルカラーで少量でも
大量にも対応

少数には不向きで、多色も不向き
ロットが増えると非常に安価

- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の作成時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しており、当社はそのような一般に公知の情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。
- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。